

第 101 回 MIPEL 展に JAPAN ブースが 2 回目の出展&MIPEL アワード受賞！

社団法人日本皮革産業連合会では、平成 24 年 3 月 4 日（日）～7 日（水）にイタリアのフィエラ・ミラノ展示会場において開催された国際バッグ・雑貨見本市である第 101 回 MIPEL 展に 9 月展に続けて 2 回目、3 月展では初めて JAPAM ブースを設け、出展しました。展示会には、国内の選定委員会で選ばれた 6 社が日本製または日本で鞣した革を使った革製品（バッグ・かばん・小物、手袋等）を出展しました。

審査の結果、デザイン力が高く評価され、MIPEL アワードの 5 部門のうち、Style & Innovation 部門において(株)アートフィアーが大賞を受賞、大峽製鞆(株)が入賞しました。

商談面では、イタリア、スイスをはじめとしたヨーロッパ諸国、ロシア、旧ソ連邦、北欧、香港、日本等から引き合いがありました。

展示会の様子は以下の通りです。

<MIPEL アワード>



左が MIPEL アワード Style and Innovation 部門の大賞を受賞した(株)アートフィアーの由利佳一郎氏、右が同賞に入賞した大峽製鞆(株)の大峽宏造氏

<MIPEL 及び JAPAN ブースの様子>





展示会で評判の良かった出展6社の製品は以下の通りです。

株式会社アートフィアー <http://www.artphere.com/>



曲線のバランスをとってデザインしたカーブという名のバッグで、被せに特徴があります。細部にまでこだわり、紐は、京組紐の昇苑、内装は西陣織を巾着設計して収納力が抜群。革は姫路のタンナーが最高級の牛皮を柔らかくぬめした

ものを使用。MIPELでは、同社は、MIPELアワード Style and Innovation部門の大賞を受賞し、ヨーロッパのバイヤーがデザイン性を高く評価しました。このバッグは、キャメル、イエロー、グリーン、パープルも揃えています。



株式会社ウノフク <http://www.unofuku.com/>



i-phone の入る革製の首まわりポーチがイギリス、イタリアのバイヤーに人気でした。



また、自社独自開発の革製メッシュに興味を示すバイヤーが多くありました。

大峽製鞆株式会社 <http://www.ohbacorp.com>



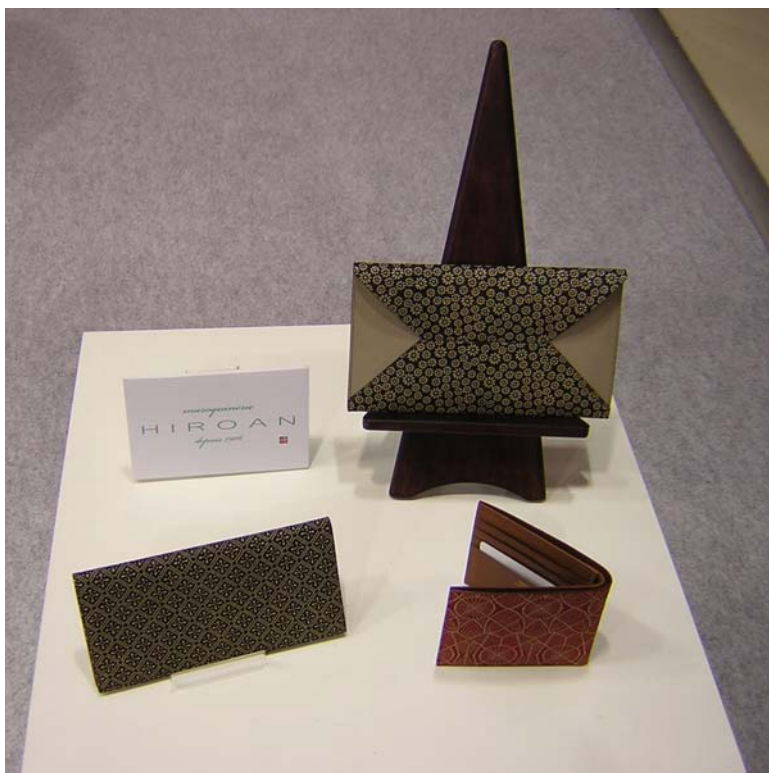
同社は平成 23 年 9 月展に続き 2 回目の出展で MIPEL アワード Style and Innovation 部門で入賞しました。

東京芸術大学とコラボレーション制作したリュックサックのデザインのユニークさが注目を集めました。



また、日本独特なコードバンの製品が人気でした。

株式会社革包司 博庵 <http://www.hiroan.co.jp/>



日本的な印傳のデザイン性、ベタ張り特有の柔軟さ、コバの仕上げの美しさをヨーロッパバイヤーから高く評価されました。

折り紙の発想から造った小銭入れや金具無し
の札挟みも好評でした。

高級感のある小物がイタリアやスイスを始めとしたヨーロッパのバイヤーから高く評価されました。

株式会社クロダ <http://www.kuroda.co.jp/>



手首にファーが付いており、インナーがカシミアなど防寒性に優れた手袋が人気でした。イタリアを中心としたヨーロッパ、ロシアの企業が興味を示しました。

株式会社ボーグラン <http://www.beaugrand.co.jp>



ロシア圏からの引き合いが多くありました。素材感とデザイン性が高く評価され、この品質にして、この価格は手頃と言われました。スイス、イタリア、オランダのセレクトショップが展示やネット販売に興味を示すと共に香港、日本の企業から具体的な引き合いがありました。

<展示会概要>

- ・ 展示会名：MIPEL THE BAG SHOW (<http://www.mipel.com/>)
- ・ 主 催：AIMPES Servizi S.r.l.
- ・ 開催日時：平成 24 年 3 月 4 日（日）～7 日（水）9:30～19:00
- ・ 会 場：フィエラ・ミラノ展示会場
- ・ 会場面積：20,000 m²
- ・ 展 示 品：紳士&婦人バッグ、鞆、小物、ベルト、手袋など
- ・ 出展者数：357 社（内訳：イタリア 249 社、イタリア以外 108 社）
- ・ 来場者数：15,000 人以上
- ・ JAPAN ブース：HALL 8 Stand A33、B34、A35、B36

<問い合わせ先>

社団法人日本皮革産業連合会 島岡、王 TEL：03-3847-1451